

令和7年度 第2回 SNSを活用したアンケート結果 (通常版)

東京都子供政策連携室
令和7（2025）年11月

「SNSを活用したアンケート」について

- 東京都では、中高生の多様な意見を幅広く収集するため、日常的に使用しているSNSを活用したアンケートを実施しています。
- 中高生が「日頃の暮らしの中で感じていること」や「東京都の事業について思っていること」等を把握し、様々な政策や取組に繋げていきます。

【概要】

都内在住又は在学の13歳から18歳のSNSユーザーに対して
匿名型アンケートを実施

実施時期	回答者数	テーマ
令和7（2025）年 6月17日～7月3日	5,000人	・環境問題 ・大気環境 ・結婚や子育て

※「高校生」には、高校生相当年齢(15～18歳)の子供を含みます。
※ n (number of cases)は、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。

目次

1. 調査概要・回答者属性

2～3ページ

2. 「環境問題」について

5～8ページ

3. 「大気環境」について

9～10ページ

4. 「結婚や子育て」について

11～15ページ

1.調査概要

調査テーマ	<ul style="list-style-type: none">・ 環境問題・ 大気環境・ 結婚や子育て																																																																		
調査手法	スマートフォンによるプッシュ通知型アンケート																																																																		
調査対象者	東京都在住もしくは在学の13歳から18歳 （中学 1 年生から高校 3 年生相当）																																																																		
最終有効サンプル数	n=5,000																																																																		
サンプル割付	<div>最終有効回収数は以下のとおり</div> <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="3">中学生</th><th colspan="3">高校生</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><th>1年生 相当*</th><th>2年生 相当</th><th>3年生 相当</th><th>1年生 相当</th><th>2年生 相当</th><th>3年生 相当</th></tr><tr><td rowspan="2">男性</td><td>(人)</td><td>91</td><td>309</td><td>482</td><td>445</td><td>447</td><td>447</td><td>2,221</td></tr><tr><td>(%)</td><td>1.8</td><td>6.2</td><td>9.6</td><td>8.9</td><td>8.9</td><td>8.9</td><td>44.4</td></tr><tr><td rowspan="2">女性</td><td>(人)</td><td>99</td><td>522</td><td>781</td><td>461</td><td>458</td><td>458</td><td>2,779</td></tr><tr><td>(%)</td><td>2.0</td><td>10.4</td><td>15.6</td><td>9.2</td><td>9.2</td><td>9.2</td><td>55.6</td></tr><tr><td rowspan="2">計</td><td>(人)</td><td>190</td><td>831</td><td>1,263</td><td>906</td><td>905</td><td>905</td><td>5,000</td></tr><tr><td>(%)</td><td>3.8</td><td>16.6</td><td>25.3</td><td>18.1</td><td>18.1</td><td>18.1</td><td>100.0</td></tr></table> <div>※規定により、アンケートモニターが13歳以上に限定されているため、サンプル数が少ない。</div>		単位	中学生			高校生			計	1年生 相当*	2年生 相当	3年生 相当	1年生 相当	2年生 相当	3年生 相当	男性	(人)	91	309	482	445	447	447	2,221	(%)	1.8	6.2	9.6	8.9	8.9	8.9	44.4	女性	(人)	99	522	781	461	458	458	2,779	(%)	2.0	10.4	15.6	9.2	9.2	9.2	55.6	計	(人)	190	831	1,263	906	905	905	5,000	(%)	3.8	16.6	25.3	18.1	18.1	18.1	100.0
	単位			中学生			高校生				計																																																								
		1年生 相当*	2年生 相当	3年生 相当	1年生 相当	2年生 相当	3年生 相当																																																												
男性	(人)	91	309	482	445	447	447	2,221																																																											
	(%)	1.8	6.2	9.6	8.9	8.9	8.9	44.4																																																											
女性	(人)	99	522	781	461	458	458	2,779																																																											
	(%)	2.0	10.4	15.6	9.2	9.2	9.2	55.6																																																											
計	(人)	190	831	1,263	906	905	905	5,000																																																											
	(%)	3.8	16.6	25.3	18.1	18.1	18.1	100.0																																																											
実査期間	2025年6月17日（火）～ 7月3日（木）																																																																		

- 報告書中の記載について
- ・ 集計値は小数点第1位まで表示しているが、それ以下の数字も存在するため、合計値が100%にならない場合がある。
 - ・ 同様に、項目の合計値を算出している箇所は、小数点第1位以下が存在する関係で、グラフや数表の表示上の数値と合計値が一致しない場合がある。
 - ・ クロス集計中、特記事項がない限りは全体値に対する比較において、下記基準で色付けを行っている。
下記の基準に該当しても、表示されていない小数点第1位以下の数値が存在するため、厳密に基準を超えておらず、色付けされない場合がある。

■ 全体と比較して差が+10ポイント以上

■ 全体と比較して差が+5ポイント以上～+10ポイント未満

■ 全体と比較して差が-5ポイント以上～-10ポイント未満

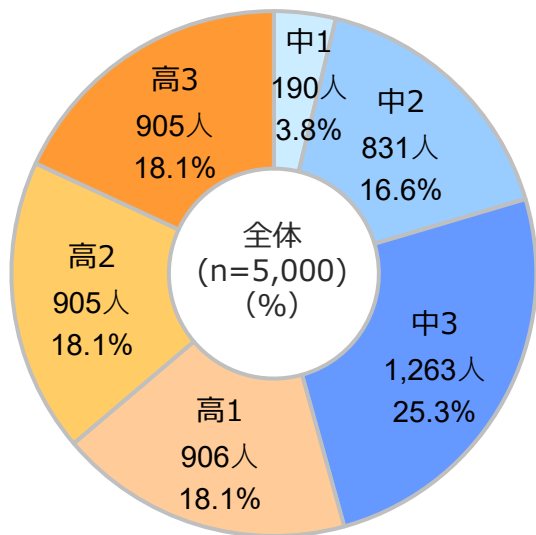
■ 全体と比較して差が-10ポイント以上
 - ・ 本報告書中の集計軸についての分析は、「全体」や各集計軸層との間でスコアを比較し、特筆すべき結果がみられる場合に、各ページ上部のコメントとして掲載している。
 - ・ 複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、各選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、各選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
 - ・ 自由記述回答は原文のまま掲載している。

1.回答者属性

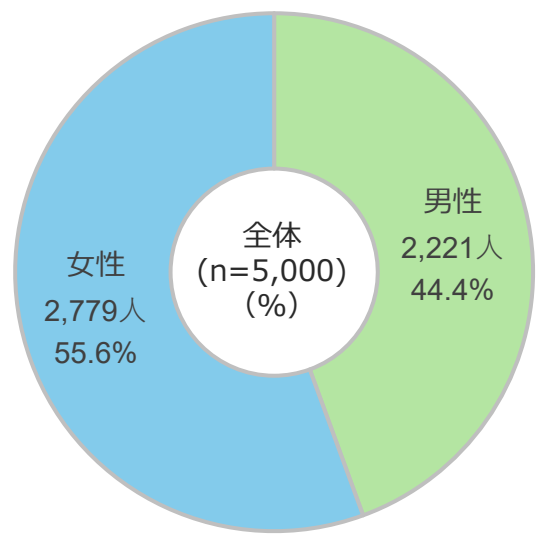
回答者の基本属性構成比は以下のとおり。

ベース：全体 (n=5,000)

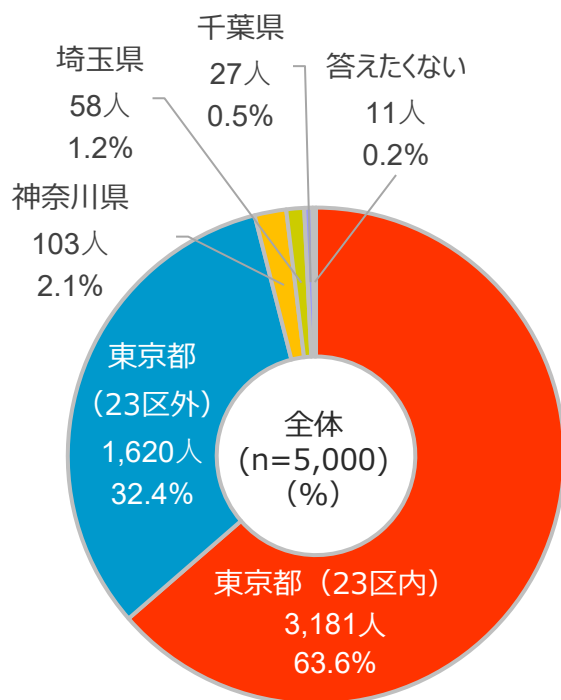
■ 学年



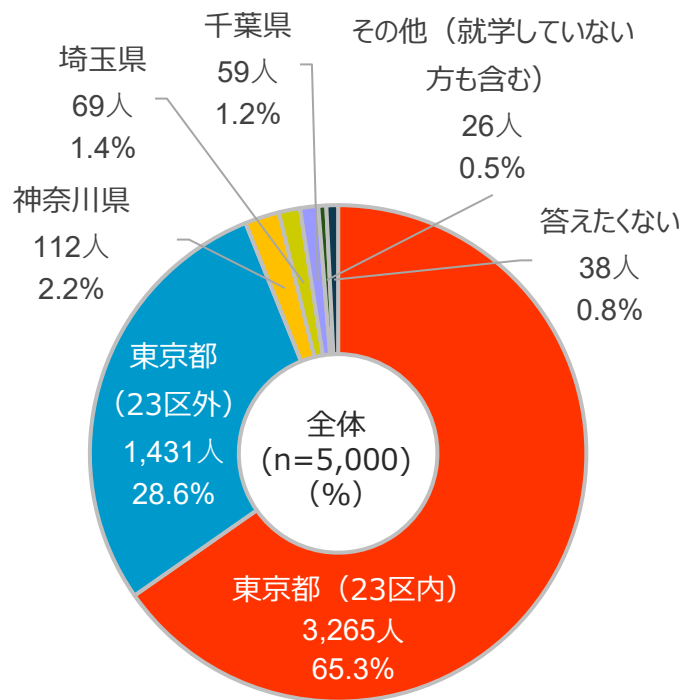
■ 性別



■ 居住地



■ 学校所在地



調査結果の詳細

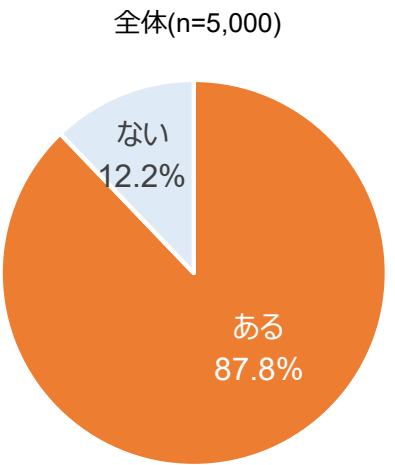
2.「環境問題」について

■環境問題について考えた経験の有無

Q1. 地球温暖化（気候危機）や自然環境の保全など様々な環境問題がありますが、あなたはこうした環境問題について考えたことがありますか。（ひとつだけ）

ベース：全体（n=5,000）

- 全体では、「ある」が87.8%となっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「ある」が「ない」を上回っている。



(%)

	回答者数	ある	ない
全体	5000	87.8	12.2
中学生全体	2284	87.1	12.9
男性中学生	882	84.2	15.8
男性中学1年生	91	81.3	18.7
男性中学2年生	309	84.8	15.2
男性中学3年生	482	84.4	15.6
女性中学生	1402	88.9	11.1
女性中学1年生	99	94.9	5.1
女性中学2年生	522	88.1	11.9
女性中学3年生	781	88.7	11.3
高校生全体	2716	88.4	11.6
男性高校生	1339	87.4	12.6
男性高校1年生	445	90.1	9.9
男性高校2年生	447	84.3	15.7
男性高校3年生	447	87.7	12.3
女性高校生	1377	89.5	10.5
女性高校1年生	461	88.5	11.5
女性高校2年生	458	90.2	9.8
女性高校3年生	458	89.7	10.3

2.「環境問題」について

■考えたことがある環境問題

Q2.「どのような環境問題について」考えたことがありますか。（自由記述）

（記入例）地球温暖化により、洪水被害が増えていること、マイクロプラスチックが海亀に影響を与えていることなど ※覚えていない場合は「覚えていない」とご記入ください。

ベース：環境問題について考えたことがある方（Q1で「ある」と回答した方）（n=4,392）

- 「地球温暖化」「気候変動」に関連した内容が、非常に多く挙げられている。
- また、「海洋汚染」「ごみ問題」「プラスチック問題」についても、多く挙げられている。
- 他には、「森林伐採」「大気汚染」「生態系破壊」などについても、挙げられている。

【自由回答抜粋】

- 気候変動により、本来ならば暑くない時期に、真夏日になったりすること（女性 中学1年生）
- 地球温暖化により、北極や南極の氷が溶けシロクマなどの生物の数が減っている（男性 中学3年生）
- 地球温暖化により平均気温が上がったり、異常気象が起きたりしていること（女性 高校1年生）
- 温暖化による気候変動（水不足による農業への影響など）（男性 高校3年生）
-
- 地球温暖化による直接的な猛暑日の増加 マイクロプラスチックの生き物に与えている影響（女性 中学1年生）
- ごみの埋立地がいっぱいになってしまい、将来埋め立てる場所がなくなってしまう（女性 中学3年生）
- 海洋汚染により、生物が生息しにくい地域が生まれていること（男性 高校2年生）
- マイクロプラスチックが海洋生物に影響を与えていることや、人間にも食物用の魚から体内にマイクロプラスチックが蓄積しているかもしれないこと（女性 高校3年生）
-
- 都市開発による森林伐採（男性 中学1年生）
- 大気汚染により、酸性雨や呼吸器疾患にかかってしまうこと（女性 高校2年生）
- 土地の開発や生物の乱獲によって生物が絶滅の危機に瀕していること（男性 高校3年生）

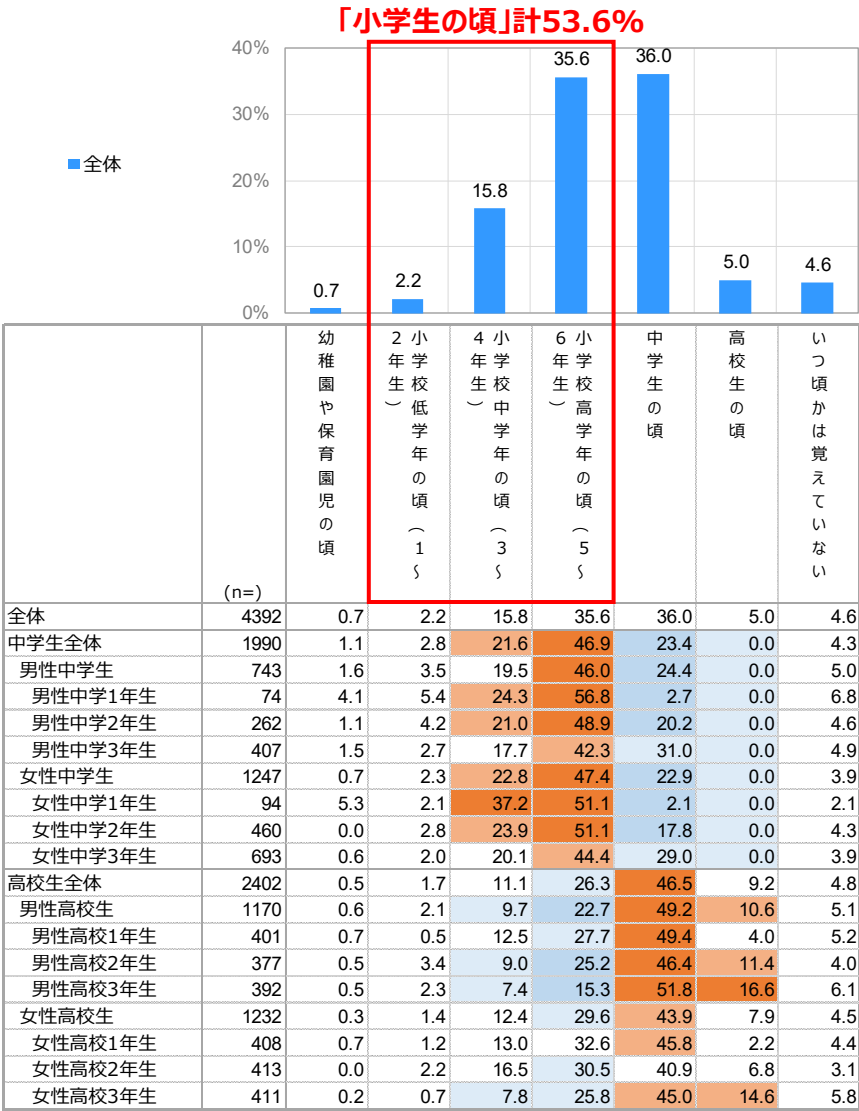
2.「環境問題」について

■環境問題について考えるようになった時期

Q3.あなたがその環境問題について「考えるようになったのはいつ頃」ですか。（ひとつだけ）

ベース：環境問題について考えたことがある方（Q1で「ある」と回答した方）（n=4,392）

- 全体では、「小学生の頃」計が53.6%と最も高く、続いて「中学生の頃」(36.0%)、「高校生の頃」(5.0%)となっている。
- 「小学生の頃」のうち、「小学校高学年の頃（５～６年生）」(35.6%)が最も高く、続いて「小学校中学年の頃（３～４年生）」（15.8%）、「小学校低学年の頃（１～２年生）」（2.2%）となっている。
- 性別×学年別では、「男性中学生」・「女性中学生」では「小学生の頃」が最も高く、「男性高校生」・「女性高校生」では「中学生の頃」が最も高くなっている。



<全体との差> ■ +10pt以上 ■ +5pt以上 ■ -5pt以上 ■ -10pt以上

2.「環境問題」について

■環境問題について考えるきっかけになった出来事

Q4. あなたがその環境問題について「考えるきっかけになった出来事（場面と内容）」を教えてください。
（自由記述）

（記入例） テレビで大雨被害の映像をみて気象予報士が地球温暖化について説明していたこと、スーパーのイベントでマイクロプラスチックについて話しているのを聞いたこと など

※覚えていない場合は「覚えていない」とご記入ください。

ベース：環境問題について考えたことがある方（Q1で「ある」と回答した方）（n=4,392）

- 社会や総合的な学習の時間などの「授業で学習した」ことが、多く挙げられている。
- また、「テレビのニュース」や「SNS」、「新聞」などで見聞きしたことも多く挙げられている。
- 個々の体験を通じて気候変動を実感している回答もあった。

【自由回答抜粋】

- 学校の社会の授業で水没してしまう国があることを先生が話していたこと（男性 中学1年生）
- 社会科の授業で見せられたアマゾンの写真が印象深かった（女性 中学2年生）
- 学校の、総合的な学習の時間でSDGsについて調べ、スライドを作り発表する授業があったから（男性 中学3年生）
- 社会の授業の時に地球温暖化について勉強してツバルという国が沈む可能性があると言ったからです（男性 高校1年生）
- 社会の教科書でサンゴやウミガメなどの海の生物が人間の活動により危険にさらされている写真を見て、衝撃を受けたから（女性 高校2年生）
-
- テレビのニュースで前にメキシコが50度を超えたということ（男性 中学2年生）
- テレビで大雨被害の映像をみて気象予報士が地球温暖化について説明していたこと。
スーパーのイベントでマイクロプラスチックについて話しているのを聞いたこと（女性 中学3年生）
- 新聞で地球温暖化の記事を読んだ（女性 高校1年生）
- TwitterやYouTubeなどのSNSでみた（女性 高校3年生）
-
- 夏が暑くなっていると感じたこと（女性 中学2年生）
- 授業の調べ学習で一番最初に思いついたのが、自分の体調を崩した寒暖差についてだったので（男性 高校2年生）
- ゲリラ豪雨などの急な気候変化（男性 高校3年生）

3.「大気環境」について

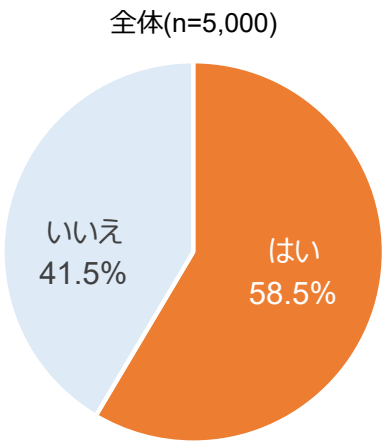
■環境に優しい製品選びが重要であることの認知

Q5.東京の空をさらに綺麗にするためには、環境に優しい製品選びが重要だと知っていますか。（ひとつだけ）
例：ペン（油性→水性へ）や日焼け止め（スプレー→ミストタイプへ）

大気汚染は、環境だけでなく、人の健康にも悪い影響を及ぼします。

ベース：全体 (n=5,000)

- 全体では、「はい」が58.5%となっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「はい」が「いいえ」を上回っている。



(%)

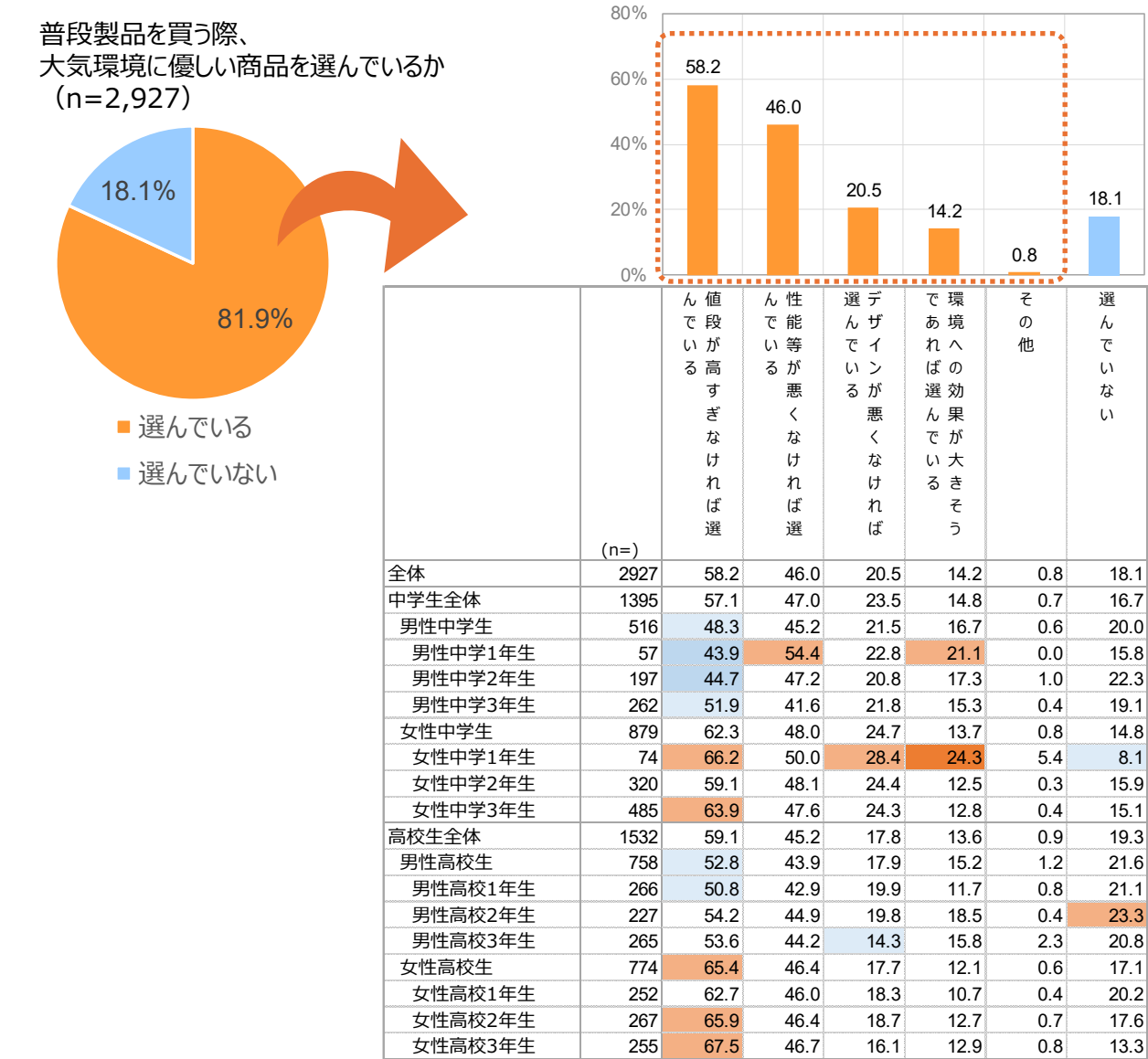
	回答者数	はい	いいえ
全体	5000	58.5	41.5
中学生全体	2284	61.1	38.9
男性中学生	882	58.5	41.5
男性中学1年生	91	62.6	37.4
男性中学2年生	309	63.8	36.2
男性中学3年生	482	54.4	45.6
女性中学生	1402	62.7	37.3
女性中学1年生	99	74.7	25.3
女性中学2年生	522	61.3	38.7
女性中学3年生	781	62.1	37.9
高校生全体	2716	56.4	43.6
男性高校生	1339	56.6	43.4
男性高校1年生	445	59.8	40.2
男性高校2年生	447	50.8	49.2
男性高校3年生	447	59.3	40.7
女性高校生	1377	56.2	43.8
女性高校1年生	461	54.7	45.3
女性高校2年生	458	58.3	41.7
女性高校3年生	458	55.7	44.3

3.「大気環境」について

■大気環境に優しい商品の選択意識

Q6. 普段製品を買う際、大気環境に優しい商品を優先的に選んでいますか。(複数回答可)
大気環境に優しい商品には、エコマーク等、選びやすいようにラベルがついている製品もあります。
ベース：環境に優しい製品選びが重要と知っている方 (Q5で「はい」と回答した方) (n=2,927)

- 全体では、「値段が高すぎなければ選んでいる」(58.2%)が最も高く、続いて「性能等が悪くなければ選んでいる」(46.0%)、「デザインが悪くなければ選んでいる」(20.5%)となっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「値段が高すぎなければ選んでいる」が最も高くなっている。
- 次点も、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「性能等が悪くなければ選んでいる」となっている。



※選択肢は、全体の降順で並び替え（「その他」「選んでいない」を除く）
※選択肢「値段が高すぎなければ選んでいる」から「その他」は複数回答可のため、全体の「選んでいる」の割合と選択肢の%の合計が一致しない
<全体との差> ■ +10pt以上 ■ +5pt以上 ■ -5pt以上 ■ -10pt以上

4.「結婚や子育て」について

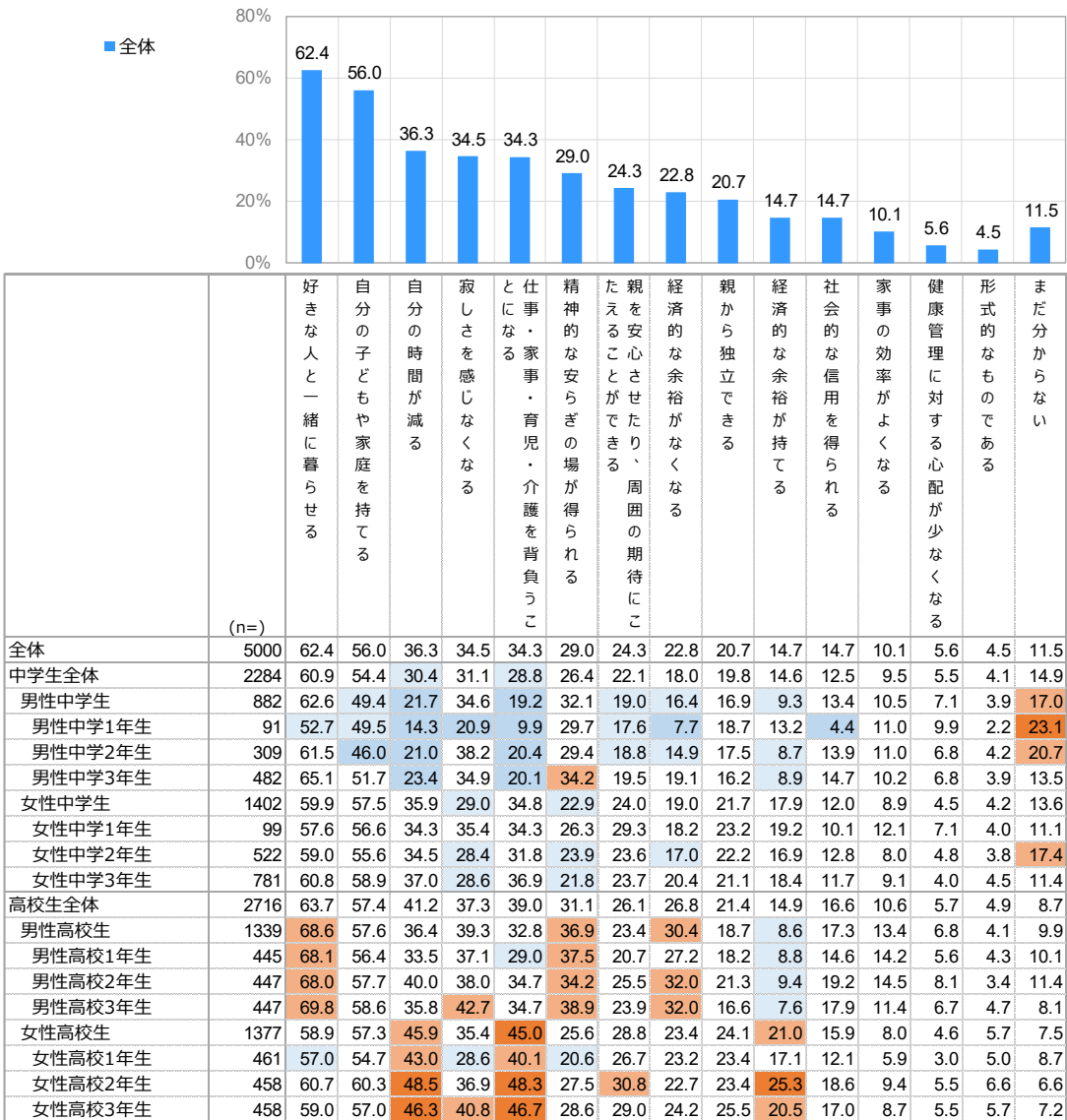
※ここでの「結婚」は、事実婚・パートナーシップ関係を含みます

■結婚に関するイメージ

Q7. あなたは、結婚に関してどのようなイメージをお持ちですか。（複数回答可）

ベース：全体 (n=5,000)

- 全体では、「好きな人と一緒に暮らせる」(62.4%)が最も高く、続いて「自分の子どもや家庭を持てる」(56.0%)、「自分の時間が減る」(36.3%)となっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「好きな人と一緒に暮らせる」が最も高くなっている。
- 次点も、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「自分の子どもや家庭を持てる」となっている。



※選択肢は、全体の降順で並び替え（「まだ分からない」を除く）

<全体との差> ■ +10pt以上 ■ +5pt以上 ■ -5pt以上 ■ -10pt以上

4.「結婚や子育て」について

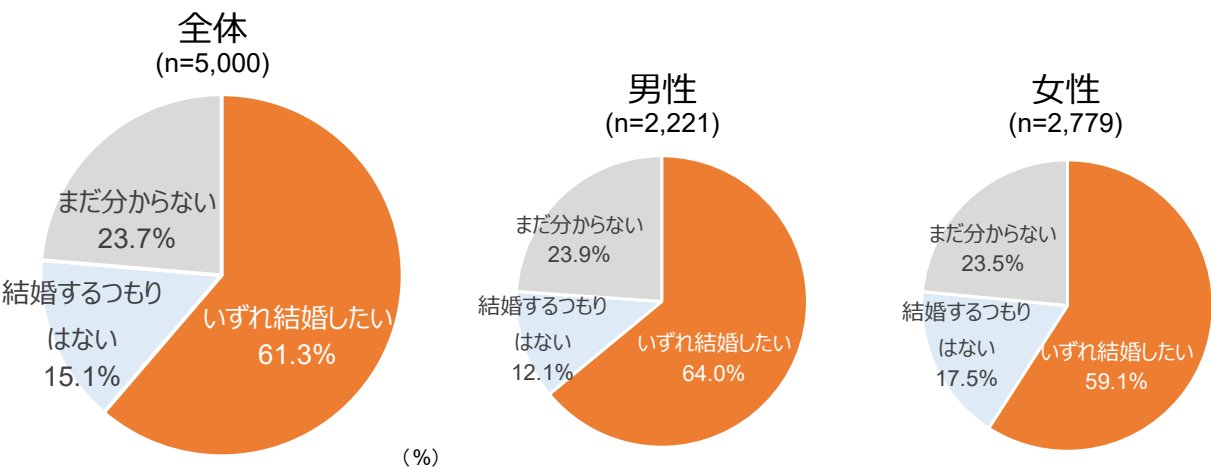
※ここでの「結婚」は、事実婚・パートナーシップ関係を含みます

■結婚意識

Q8. あなたは、結婚に関してどのような考えをお持ちですか。（ひとつだけ）

ベース：全体 (n=5,000)

- 全体では、「いずれ結婚したい」(61.3%)が最も高く、続いて「まだ分からない」(23.7%)、「結婚するつもりはない」(15.1%)となっている。
- 性別で見ると、男性・女性ともに「いずれ結婚したい」が最も高くなっているが、「結婚するつもりはない」と回答した男性は12.1%、女性は17.5%と、女性の方が男性より5.4ポイント高くなっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「いずれ結婚したい」が最も高くなっている。
- 次点も、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「まだ分からない」となっている。



	回答者数	■ いずれ結婚したい	■ 結婚するつもりはない	■ まだ分からない
全体	5000	61.3	15.1	23.7
中学生全体	2284	61.1	13.8	25.1
男性中学生	882	63.3	10.7	26.1
男性中学1年生	91	59.3	12.1	28.6
男性中学2年生	309	58.9	12.6	28.5
男性中学3年生	482	66.8	9.1	24.1
女性中学生	1402	59.8	15.8	24.5
女性中学1年生	99	56.6	22.2	21.2
女性中学2年生	522	59.4	16.7	23.9
女性中学3年生	781	60.4	14.3	25.2
高校生全体	2716	61.4	16.1	22.5
男性高校生	1339	64.5	13.0	22.5
男性高校1年生	445	68.1	11.7	20.2
男性高校2年生	447	62.0	13.6	24.4
男性高校3年生	447	63.5	13.6	22.8
女性高校生	1377	58.4	19.2	22.4
女性高校1年生	461	58.4	18.4	23.2
女性高校2年生	458	57.9	20.5	21.6
女性高校3年生	458	59.0	18.6	22.5

4.「結婚や子育て」について

※ここでの「結婚」は、事実婚・パートナーシップ関係を含みます

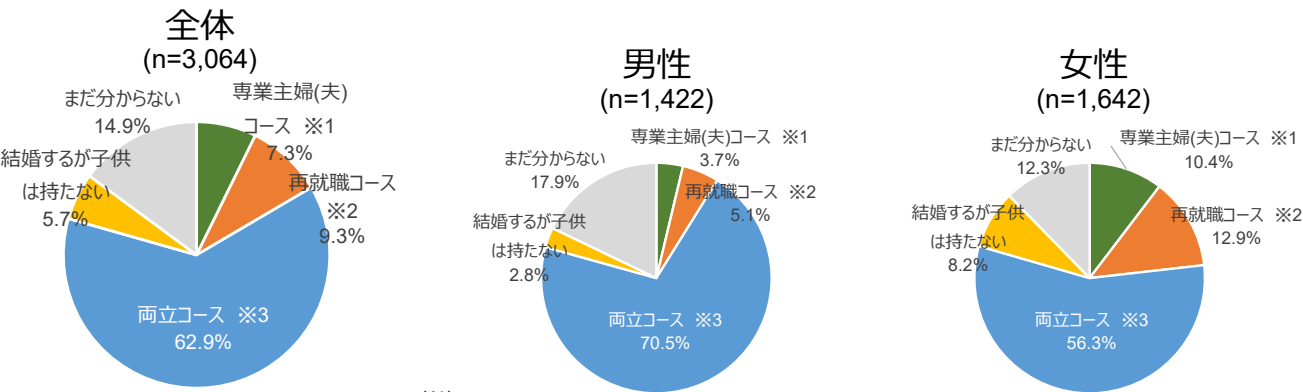
■結婚後の理想の人生（自身）

Q9. 結婚後の理想の人生について、あなたの将来像に最も近いものはどれですか。（ひとつだけ）

- ※1 専業主婦（夫）コース：結婚し子供を持ち、結婚又は出産の機会に退職、その後は仕事を持たない
- ※2 再就職コース：結婚し子供を持ち、結婚又は出産の機会に一旦退職、子育て後に再び仕事を持つ
- ※3 両立コース：結婚し子供を持つが、仕事も続ける

ベース：いずれ結婚したい方(Q8で「いずれ結婚したい」と回答した方) (n=3,064)

- 全体では、「両立コース」(62.9%)が最も高く、続いて「まだ分からない」(14.9%)、「再就職コース」(9.3%)となっている。
- 性別で見ると、男性・女性ともに「両立コース」が最も高くなっているが、男性は70.5%、女性は56.3%と、男性の方が女性より14.2ポイント高くなっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「両立コース」が最も高くなっている。
- 次点は、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」では「まだ分からない」、「女性高校生」では「再就職コース」となっている。



回答者数		(%)				
		専業主婦(夫)コース ※1		再就職コース ※2		両立コース ※3
						結婚するが子供は持たない
						まだ分からない
全体	3064	7.3	9.3	62.9	5.7	14.9
中学生全体	1396	8.7	10.2	58.1	5.5	17.6
男性中学生	558	4.5	5.4	64.9	2.5	22.8
男性中学1年生	54	9.3	7.4	55.6	1.9	25.9
男性中学2年生	182	3.8	7.1	63.2	2.2	23.6
男性中学3年生	322	4.0	4.0	67.4	2.8	21.7
女性中学生	838	11.5	13.4	53.6	7.5	14.1
女性中学1年生	56	5.4	7.1	53.6	16.1	17.9
女性中学2年生	310	11.0	11.6	54.5	7.1	15.8
女性中学3年生	472	12.5	15.3	53.0	6.8	12.5
高校生全体	1668	6.1	8.5	66.8	5.9	12.6
男性高校生	864	3.2	5.0	74.1	3.0	14.7
男性高校1年生	303	3.0	5.9	70.3	1.7	19.1
男性高校2年生	277	3.6	5.1	72.6	4.0	14.8
男性高校3年生	284	3.2	3.9	79.6	3.5	9.9
女性高校生	804	9.2	12.3	59.1	9.0	10.4
女性高校1年生	269	9.3	9.7	61.0	5.9	14.1
女性高校2年生	265	7.9	12.1	57.7	12.1	10.2
女性高校3年生	270	10.4	15.2	58.5	8.9	7.0

4.「結婚や子育て」について

※ここでの「結婚」は、事実婚・パートナーシップ関係を含みます

■結婚後の理想の人生（配偶者やパートナー）

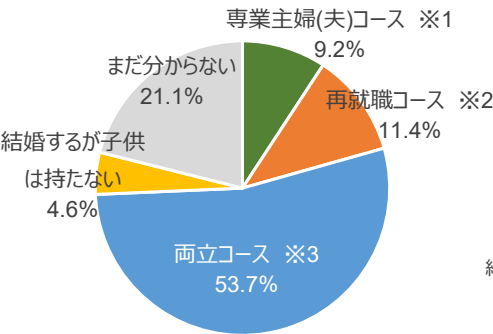
Q10. 結婚後の人生について、あなたが配偶者やパートナーに望む将来像に最も近いものはどれですか。（ひとつだけ）

- ※1 専業主婦（夫）コース：結婚し子供を持ち、結婚又は出産の機会に退職、その後は仕事を持たない
- ※2 再就職コース：結婚し子供を持ち、結婚又は出産の機会に一旦退職、子育て後に再び仕事を持つ
- ※3 両立コース：結婚し子供を持つが、仕事も続ける

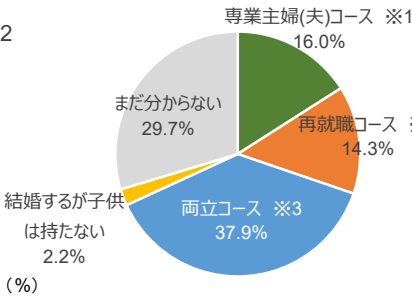
ベース：いずれ結婚したい方(Q8で「いずれ結婚したい」と回答した方) (n=3,064)

- 全体では、「両立コース」(53.7%)が最も高く、続いて「まだ分からない」(21.1%)、「再就職コース」(11.4%)となっている。
- 性別で見ると、男性・女性ともに「両立コース」が最も高くなっているが、男性は37.9%、女性は67.4%と、女性の方が男性より29.5ポイント高くなっている。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「両立コース」が最も高くなっている。
- 次点も、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで「まだ分からない」となっている。

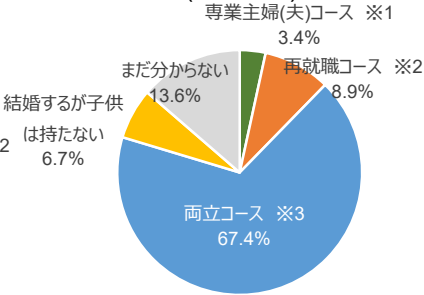
全体
(n=3,064)



男性
(n=1,422)



女性
(n=1,642)



	回答者数	専業主婦(夫)コース ※1	再就職コース ※2	両立コース ※3	結婚するが子供は持たない	まだ分からない
全体	3064	9.2	11.4	53.7	4.6	21.1
中学生全体	1396	9.5	11.5	52.7	4.4	22.0
男性中学生	558	17.7	12.5	36.0	2.2	31.5
男性中学1年生	54	16.7	9.3	42.6	1.9	29.6
男性中学2年生	182	20.3	13.2	31.9	2.7	31.9
男性中学3年生	322	16.5	12.7	37.3	1.9	31.7
女性中学生	838	4.1	10.7	63.7	5.8	15.6
女性中学1年生	56	7.1	16.1	44.6	10.7	21.4
女性中学2年生	310	3.2	11.9	64.2	5.2	15.5
女性中学3年生	472	4.2	9.3	65.7	5.7	15.0
高校生全体	1668	9.0	11.3	54.6	4.8	20.3
男性高校生	864	14.8	15.4	39.1	2.2	28.5
男性高校1年生	303	15.2	16.2	35.6	1.3	31.7
男性高校2年生	277	13.0	17.3	40.4	1.1	28.2
男性高校3年生	284	16.2	12.7	41.5	4.2	25.4
女性高校生	804	2.7	7.0	71.1	7.6	11.6
女性高校1年生	269	3.0	7.4	69.9	5.2	14.5
女性高校2年生	265	3.0	6.0	72.5	9.4	9.1
女性高校3年生	270	2.2	7.4	71.1	8.1	11.1

4.「結婚や子育て」について

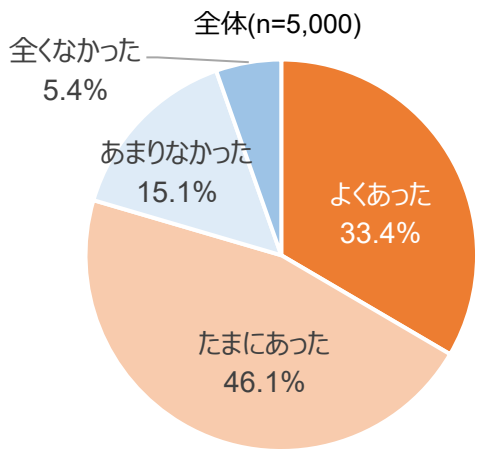
※ここでの「結婚」は、事実婚・パートナーシップ関係を含みます

■赤ちゃんや小さい子供とふれあう機会

Q11.あなたはこれまで、赤ちゃんや小さい子供とふれあう機会がありましたか。（ひとつだけ）

ベース：全体 (n=5,000)

- 全体では、「よくあった」が33.4%となっており、「よくあった」と「たまにあった」の合算は、全体で79.5%である。
- 性別×学年別でも、「男性中学生」・「女性中学生」・「男性高校生」・「女性高校生」の全てで、「たまにあった」が最も高く、続いて「よくあった」、「あまりなかった」となっている。



		（％）				「よくあった」＋ 「たまにあった」 計
	回答者数	よくあった	たまにあった	あまりなかった	全くなかった	
全体	5000	33.4	46.1	15.1	5.4	79.5
中学生全体	2284	36.8	45.2	12.1	5.9	82.0
男性中学生	882	32.2	45.4	14.5	7.9	77.6
男性中学1年生	91	28.6	51.6	11.0	8.8	80.2
男性中学2年生	309	32.7	44.0	13.6	9.7	76.7
男性中学3年生	482	32.6	45.0	15.8	6.6	77.6
女性中学生	1402	39.7	45.1	10.6	4.6	84.7
女性中学1年生	99	56.6	33.3	6.1	4.0	89.9
女性中学2年生	522	41.6	43.3	10.2	5.0	84.9
女性中学3年生	781	36.2	47.8	11.5	4.5	84.0
高校生全体	2716	30.6	46.9	17.5	5.0	77.5
男性高校生	1339	26.7	48.5	18.3	6.4	75.3
男性高校1年生	445	31.2	47.4	16.0	5.4	78.7
男性高校2年生	447	24.6	47.7	19.2	8.5	72.3
男性高校3年生	447	24.4	50.6	19.7	5.4	74.9
女性高校生	1377	34.4	45.2	16.8	3.6	79.7
女性高校1年生	461	36.2	44.3	16.1	3.5	80.5
女性高校2年生	458	35.4	45.9	15.5	3.3	81.2
女性高校3年生	458	31.7	45.6	18.8	3.9	77.3

<全体との差> ■ +10pt以上 ■ +5pt以上 ■ -5pt以上 ■ -10pt以上